

報道関係各位

平成24年 6月25日  
株式会社 クロス・マーケティング  
(東証マザーズ3629)

**取引意向に金銭的ゆとりは関係ナシ。  
過去1年間取引しているアクティブユーザーは、  
7割近くが「日本株式」を取引。  
取引頻度は、約半数が「月1未満」**

－「ビジネスパーソンの金融取引」に関する調査－

株式会社クロス・マーケティング(本社:東京都中央区 代表取締役社長兼CEO:五十嵐 幹)では、全国20～59歳の男女で、勤務時間が固定しているビジネスパーソン1,200人に、「金融取引」に関する調査を実施いたしました。

■調査結果

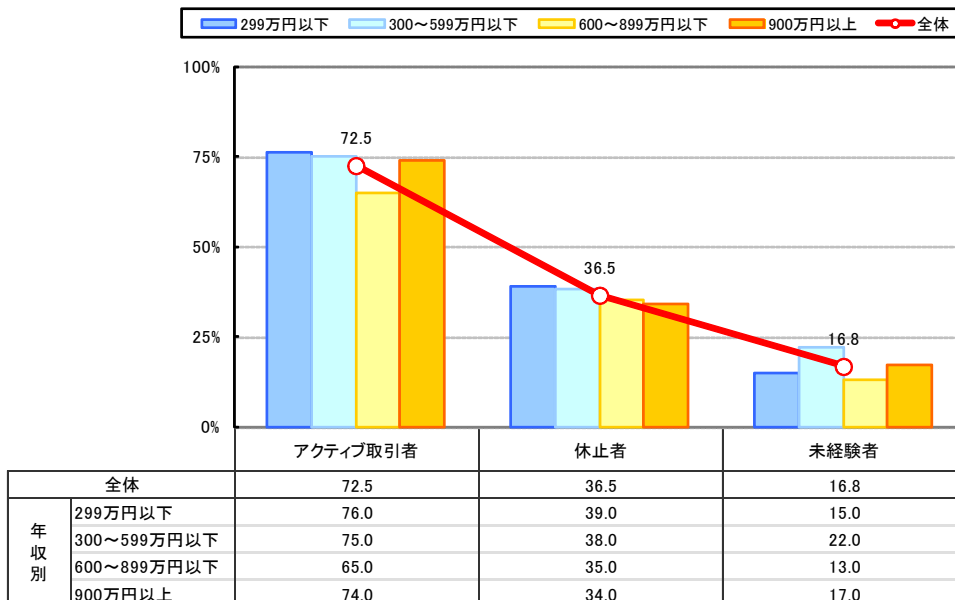
【取引意向】

- ✓ 金融商品を保有している人のうち、「アクティブ取引者」は、今後も73%が取引意向あり。一方、「非アクティブ保有者」は41%に留まる。<図1>
- ✓ 金銭的余裕による取引意向の差はあまり見られない。<図2>

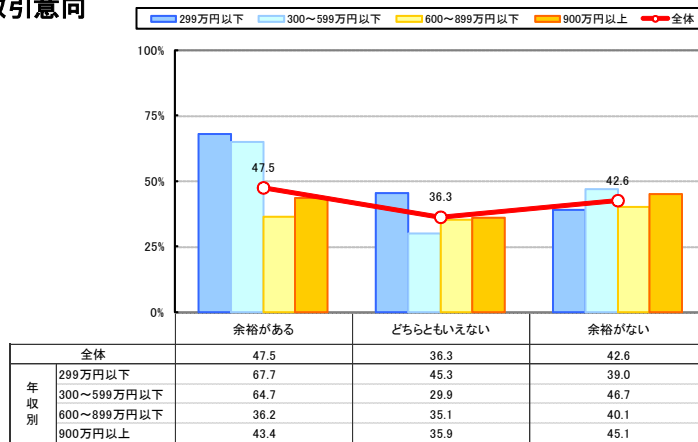
【取引状況】

- ✓ 認知している証券会社は「野村証券」(80.3%)がトップ。次いで、「大和証券」(71.3%)、「楽天証券」(70.8%)が続く。<図3>
- ✓ 認知している金融商品に関しては、「日本株式」(75.3%)、「外貨預金」(69.0%)が上位。<図4>
- ✓ 過去1年間で取引がある人の売買経験のある証券会社は、「SBI証券」(28.8%)がトップ。次いで「楽天証券」(18%)、「野村証券」(17%)が続く。<図5>
- ✓ その金融商品は、他を引き離し「日本株式」(68.5%)がトップ。<図6>
- ✓ 取引頻度は「月1未満」が47.0%と半数近くおり、「毎日以上」が一番少なく6.8%。<図7>

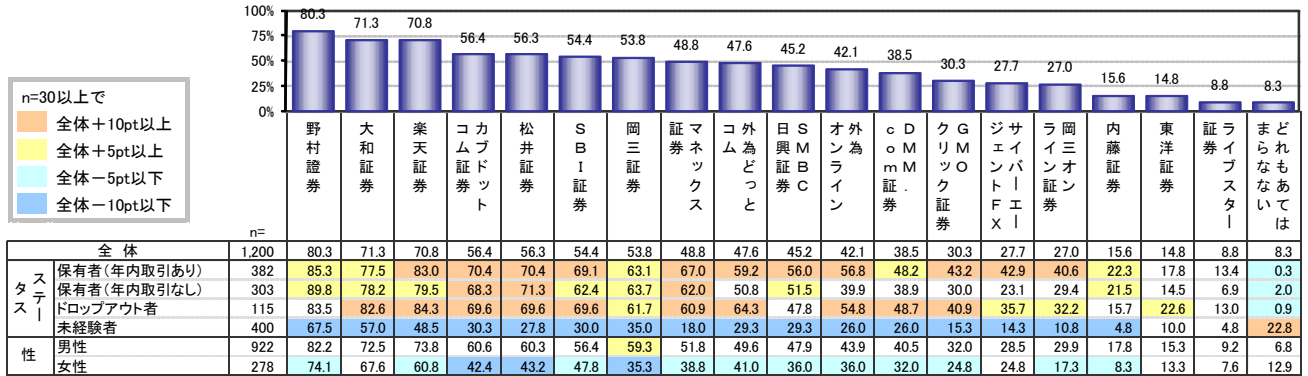
<図1> 金融商品の保有状況別取引意向



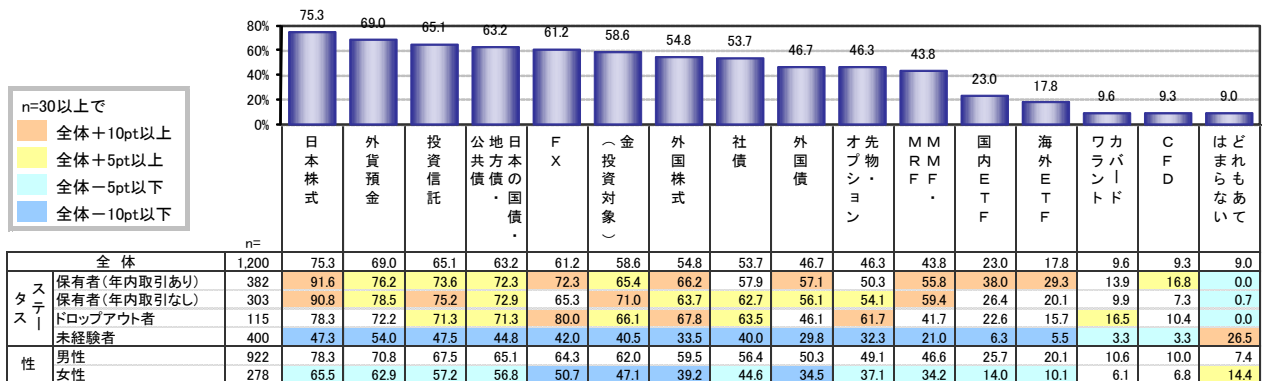
<図2> 金銭的余裕別金融商品取引意向



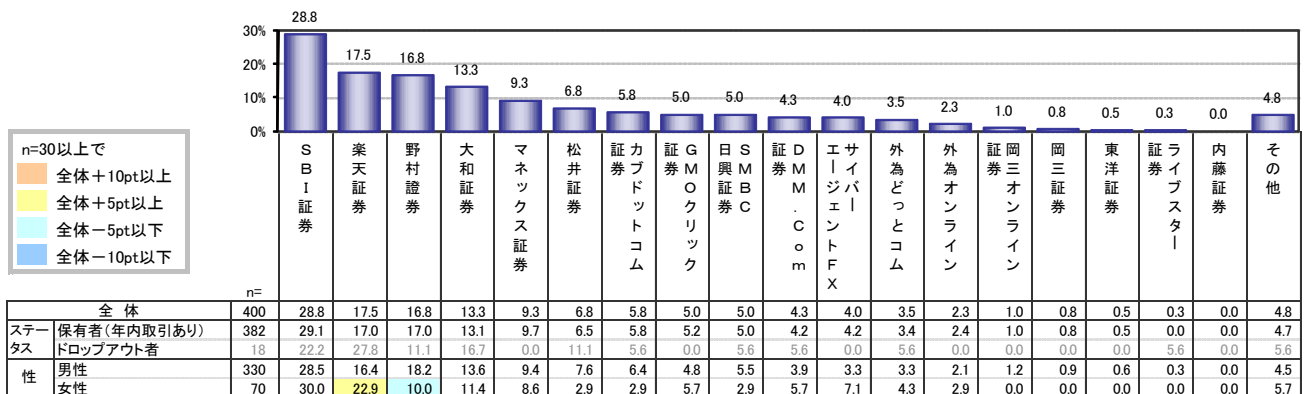
<図3> 認知している証券会社



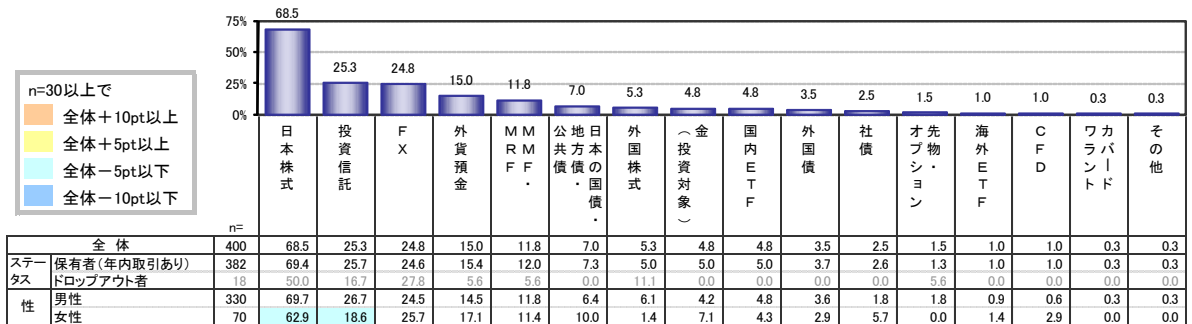
<図4> 認知している金融商品



<図5> 過去1年間で売買経験のある証券会社 (過去1年間取引ありベース)



＜図6＞ 過去1年間で売買経験のある金融商品（過去1年間取引ありベース）



＜図7＞ 金融商品取引頻度（過去1年間取引ありベース）

		(%)	毎日以上	週1～毎日未満	月1～週1未満	月1未満
全体		400	6.8	16.3	30.0	47.0
性	男性	330	6.4	17.3	31.2	45.2
	女性	70	8.6	11.4	24.3	55.7

■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング アンケートモニター使用)  
 調査対象 : 全国20～59歳の男女で、勤務時間が固定しているビジネスパーソン  
 調査期間 : 2012年2月20日(月)～2012年2月23日(木)  
 有効回答数 : 1,200サンプル

		世帯年収				合計
		～299万円	300～599万円	600～899万円	900万円以上	
取引 ステータス	アクティブ取引者	100	100	100	100	400
	休止者	100	100	100	100	400
	未経験者	100	100	100	100	400
	合計	300	300	300	300	1,200

※アクティブ取引者 - 過去1年間に取引した人  
 ※休止者 - 取引したことはあるが、過去1年間ではない人  
 ※未経験者 - 今まで取引したことがない人

調査担当 : 那須野 拓実

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>  
 (東証マザーズ3629)  
 所在地 : 東京都中央区銀座8-15-2 銀座COMビル6F  
 設立 : 2003年4月1日  
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹  
 事業内容 : リサーチ事業、ITソリューション事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆  
 広報担当: 大島 TEL : 03-3549-0603 FAX : 03-3549-0232  
 E-mail : [pr-cm@cross-m.co.jp](mailto:pr-cm@cross-m.co.jp)

＜引用・転載時のクレジット表記のお願い＞  
 本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。  
 <例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」